



Bーぐる沿線協議会ニュース

第26号

令和3年8月発行 Bーぐる沿線協議会事務局 区民課コミュニティバス担当 03-5803-1387

令和3年7月に予定されていた沿線協議会は、緊急事態宣言の期間延長に伴い開催が困難となったため、前回に引き続き書面開催の形式で行われました。報告内容は、(1)令和2年度Bーぐるの利用状況、(2)令和2年度Bーぐるの決算報告、(3)文京区コミュニティバス第三路線の概要、(4)第三路線のキャラクター及びラッピング案 の4点になります。

Bーぐる乗車人数は63万7千人。コロナの影響で約3割減少

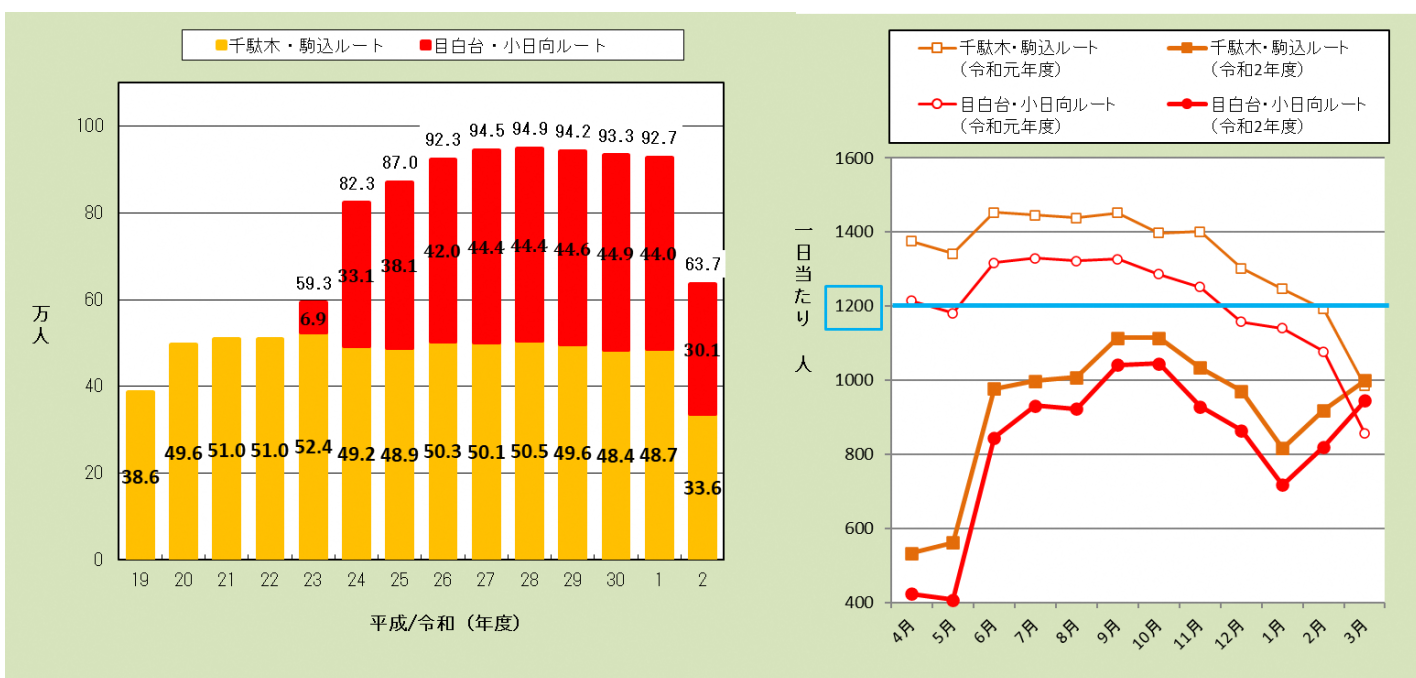
令和2年度のBーぐる乗車人数は、千駄木・駒込ルートが336,314人、目白台・小日向ルートが301,174人で、合計637,488人となりました。年度初めから緊急事態宣言の発出や延長による行動制限の影響もあって、対前年比で31.3%減少しました。

月別の乗車人数はコロナの感染拡大状況の影響を強く受ける結果となりました。両ルートとも、もっとも乗車人数が減少したのは緊急事態宣言下の4月から5月にかけてで、千駄木・駒込ルートが534人、目白台・小日向ルートが408人と報告されました。

委員からは、「コロナの影響が落ち着いたら区報で利用のアピール」を求める意見が出され、事務局も「今後の社会情勢等の変化を踏まえながら適宜適切に周知していきたい」と回答がありました。

続く令和2年度決算に関する報告では、目白台・小日向ルートの修繕費が前年度に比べ約1000万円減少した理由について、令和元年度の修繕費が車両故障等による緊急修理の影響で例年より高かった一方、令和2年度は車両の一斉更新を行ったことで修繕費が大きく抑えられたためと説明がありました。

Bーぐるの乗車実績の推移（左）と月別乗車実績（令和元年度・2年度）



本郷・湯島ルートの詳細が決定。運行開始は9月30日(予定)

5月20日に開催された文京区地域公共交通会議で、第三路線の運行計画案が関係者の合意を得られた

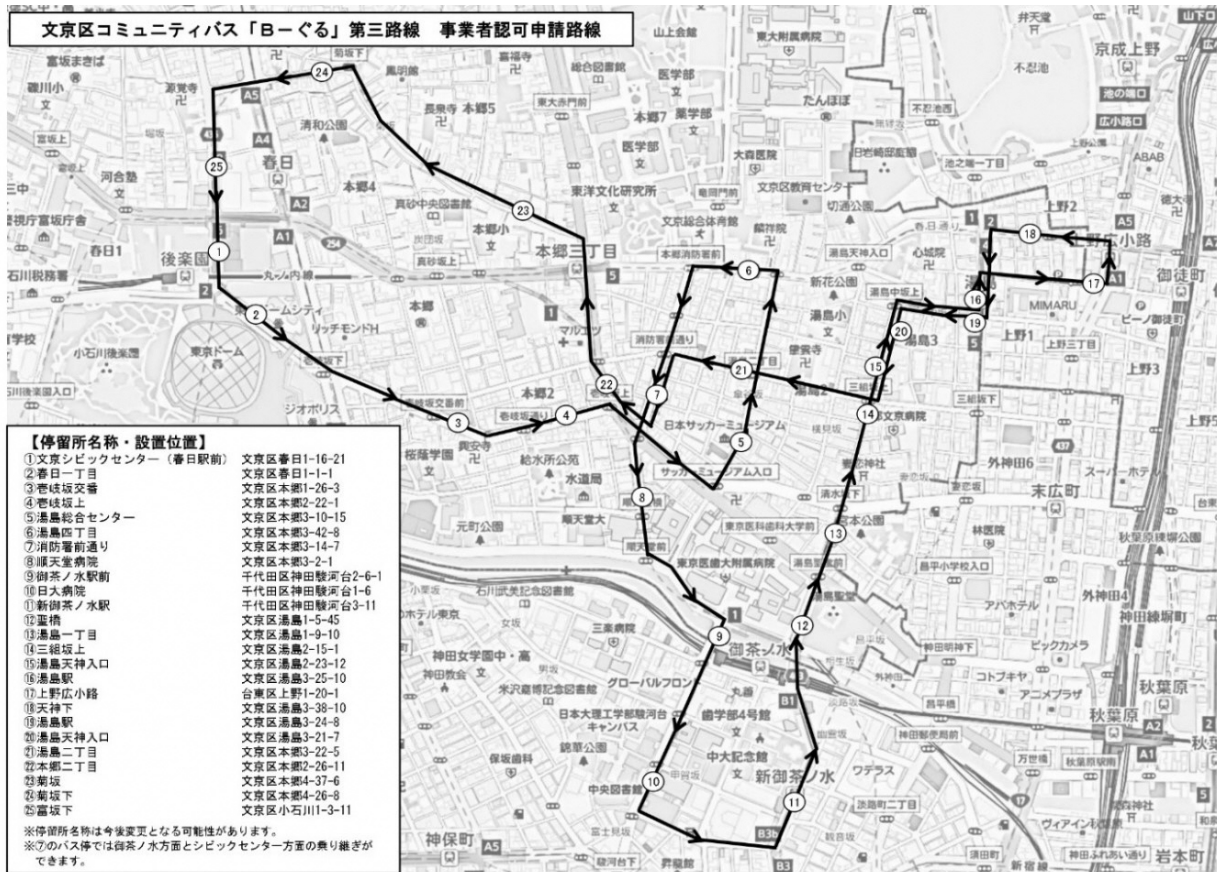
ことから、6月10日に運行事業者である日立自動車交通(株)が関東運輸局へ路線の新設認可申請書を提出、

路線名を本郷・湯島ルートとし、各バス停の位置と名称が示されました。運行開始日は9月30日(予定)となっています。

さらに、道路占用許可の申請等、運行開始に向けた環境整備を進めていることが報告されました。

委員からは、本郷三丁目に停留所がない理由と第三路線の事業費に関する質問がありました。これに対し

事務局は、関係者の合意が得られなかったためと回答しました。また事業費に関しては初年度営業収入を約1,500万円、営業経費を約5,600万円と見込んでおり、収支率は27.4%と予想しており、5年後に50%程度に収支率を改善することを目標に、より多くの皆様にご利用していただけるよう周知していきたいと回答しました。



青いBーぐる デザイン会議案を全員一致で承認

第三路線で使用する車両のデザインは、前回Bーぐる沿線協議会で出された意見をもとにデザイン会議を開催し検討してきましたが、今回その経過とデザイン案が報告され、全員一致で承認されました。

今回のデザインは、以下の点を特徴としています。

- ① 既存路線と明確に識別でき、視認性も高い青系をルートカラーに
- ② キャラクターのイラストから黒い輪郭線をなくし、イメージを刷新
- ③ 雲や足跡の点数を減らし、全体的にスッキリした印象に
- ④ 沿線の地域性にも配慮(野球、サッカー、梅)

第三路線デザイン会議の概要

開催日	[第1回] 令和3年6月10日 [第2回] 令和3年6月30日
メンバー	Bーぐる友の会、区民課、日立自動車交通、デザイン会社
検討事項	①ルートカラー ②キャラクターデザイン及び名称 ③バス車両デザイン



編集後記
デザイン会議でのケンケンガクガクの様子。参加者の熱い思いが伝わって来るかのようです。(N)